

はじめよう経済学

第13講 貨幣と債券

講師：加藤 真也

今回(第13講)は…

- 貨幣と債券
- 貨幣需要
- 貨幣供給
- 貨幣市場の均衡

資産

例 貨幣, 債券(国債, 社債等)
株式など

⇒ **資産 = 貨幣 + 債券**

貨幣：安全資産，流動性 **大**
⇒ 価値が安定していて、
商品と交換しやすい

債券：危険資産，流動性**小**
⇒ 価値が不安定で、
商品と交換しにくい

• 貨幣とは 紙幣 + 硬貨

貨幣 = 現金 + 預金

マネーストック M
(旧 マネーサプライ)

ポイント

預金も貨幣の一種として、
マネーストック M に含める

- **債券とは**

次のような国債を考える

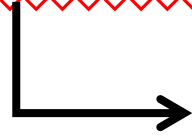
1. 額面：100万円



元本のこと

2. **表面利率 : 2%**

3. **償還期間 : 10年**



**元本が返ってくるまで
の期間**



このような国債を、
2012年末に購入すると、
国債価格が

- 90万円のとき

$$\text{利子率} = \frac{2\text{万}}{90\text{万}} \times 100 \doteq 2.2\%$$

利子率
(金利)

- **80万円するとき**

$$\text{利子率} = \frac{2\text{万}}{80\text{万}} \times 100 = 2.5\%$$

ポイント

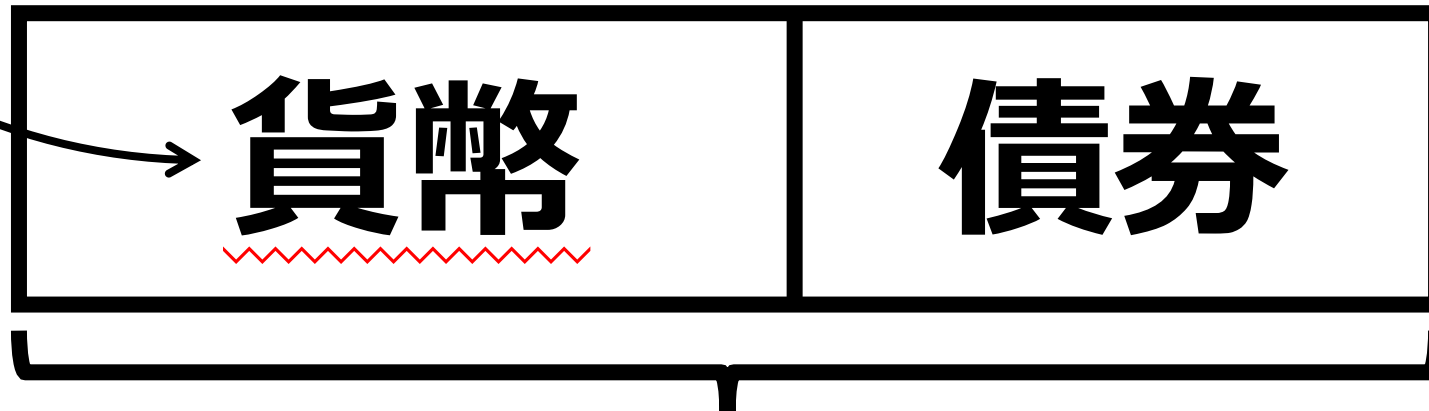
利子率 r の上昇

⊖ 債券価格 P_B の低下

Bond 債券

- **貨幣需要 L** Liquidity 流動性

：資産のうち、
貨幣として保有したい量



資産

① 取引的動機に基づく L

: 取引のために貨幣をもちたい

② 予備的動機に基づく L

: 万が一に備えて、貨幣をもちたい

③ 投機的動機に基づく L
: 安全資産として、
貨幣をもちたい

ポイント

- ① 取
 - ② 予
- } L_1

$\Rightarrow Y \uparrow \rightarrow L_1 \uparrow$

~~~~~

③ 投 :  $L_2$

$\Rightarrow \underline{r} \downarrow \rightarrow P_B \uparrow \rightarrow P_B \downarrow$  予想

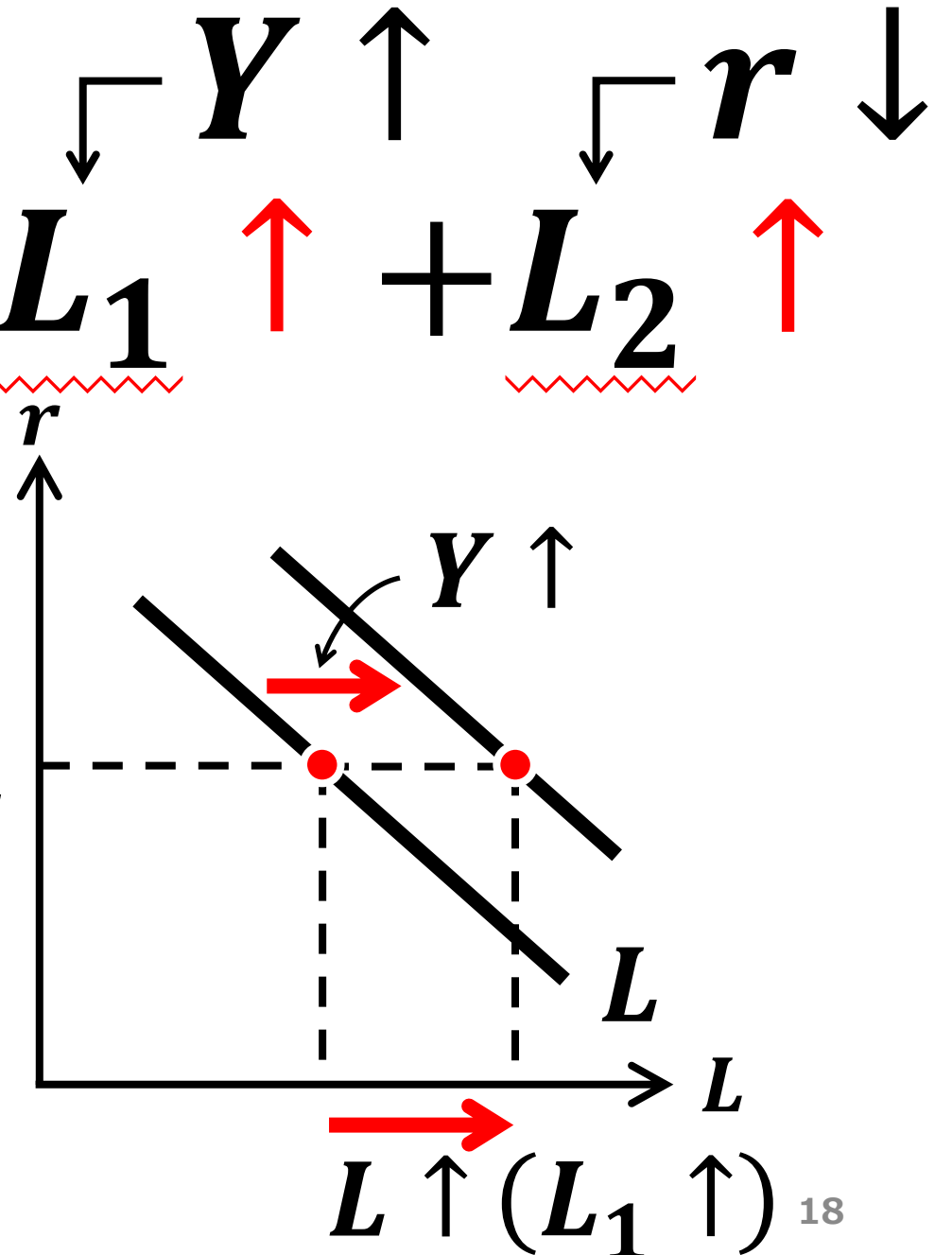
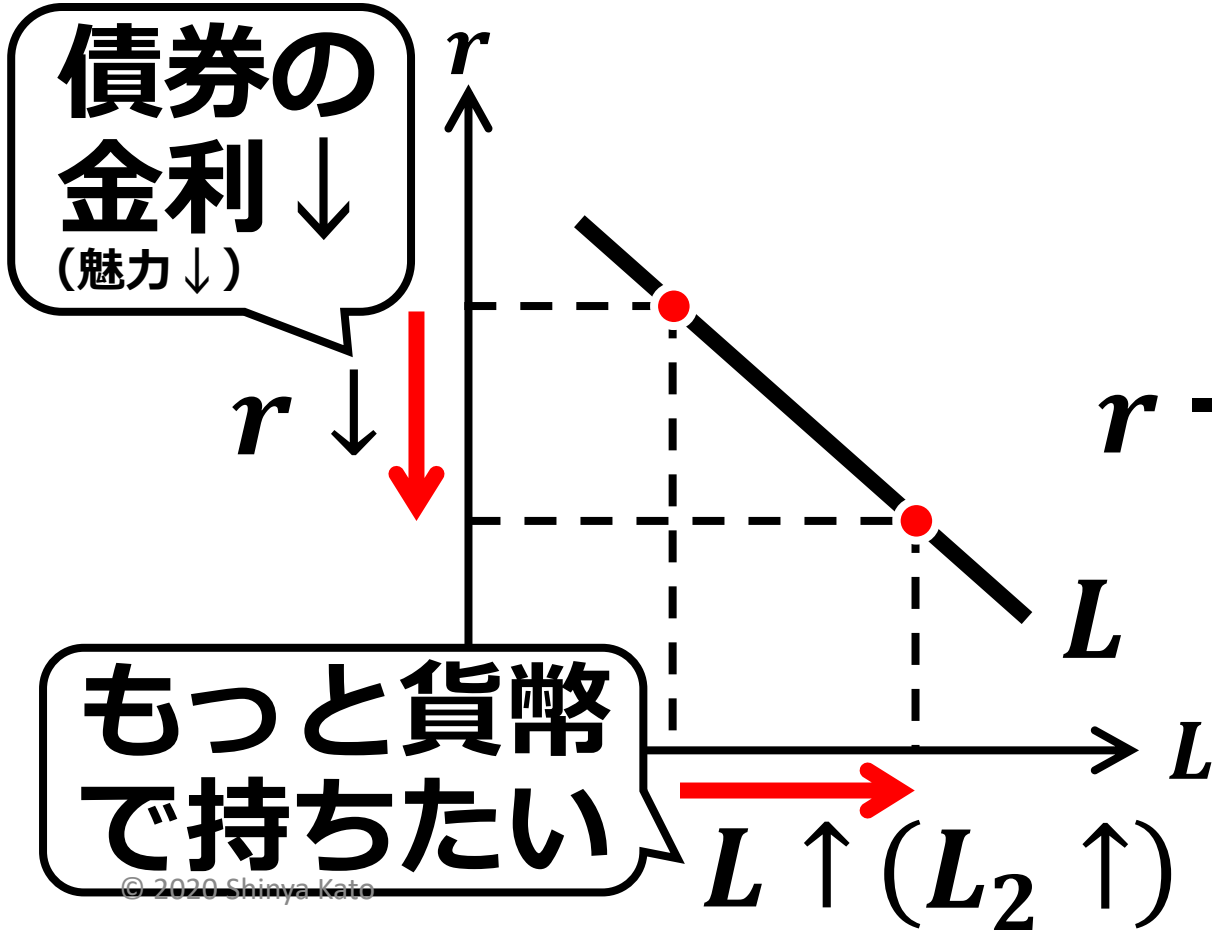
$\rightarrow$  早く債券を売ろう

≡ 貨幣としてもとう

$\rightarrow \underline{L_2} \uparrow$

# まとめ

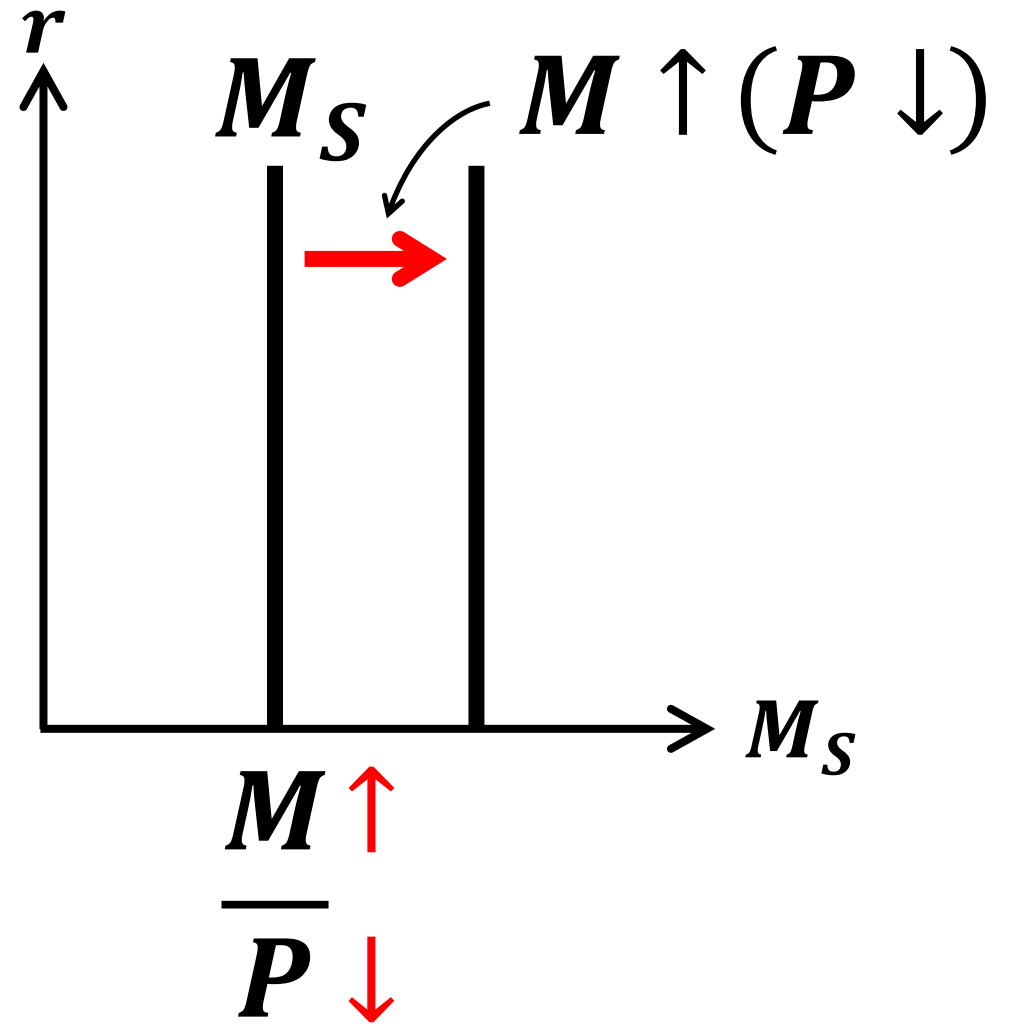
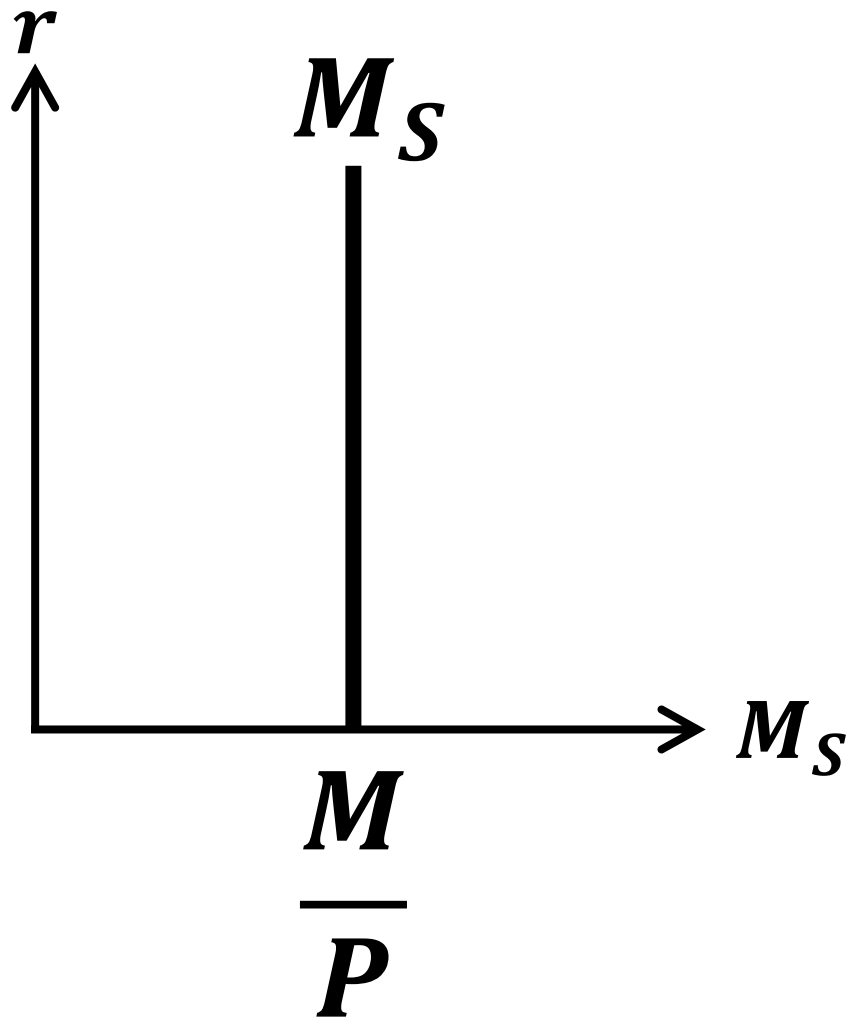
$$\text{貨幣需要 } L \uparrow\uparrow = \underbrace{L_1}_{\text{Y} \uparrow} \uparrow + \underbrace{L_2}_{\text{r} \downarrow} \uparrow$$



- 貨幣供給  $M_S$  Money Supply 例 1000円

$$\text{実質貨幣供給 } M_S = \frac{\text{マネーストック } M}{\text{物価 } P}$$

例 100円



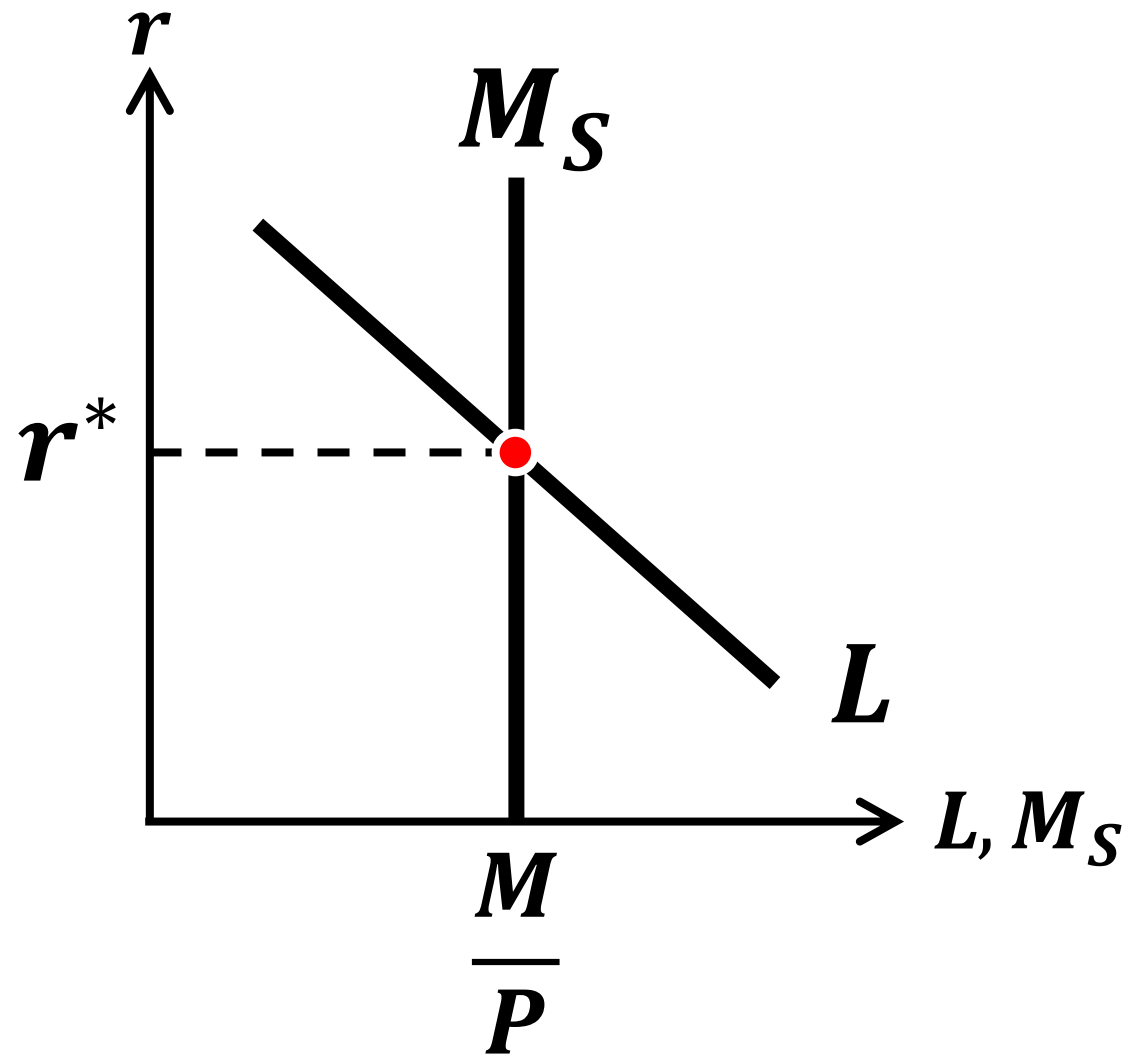
ポイント

金融緩和政策  $M \uparrow$  で、

(引締) ( $M \downarrow$ )

$M_S$  曲線は右シフト  
(左)

# • 貨幣市場



# 貨幣市場均衡条件

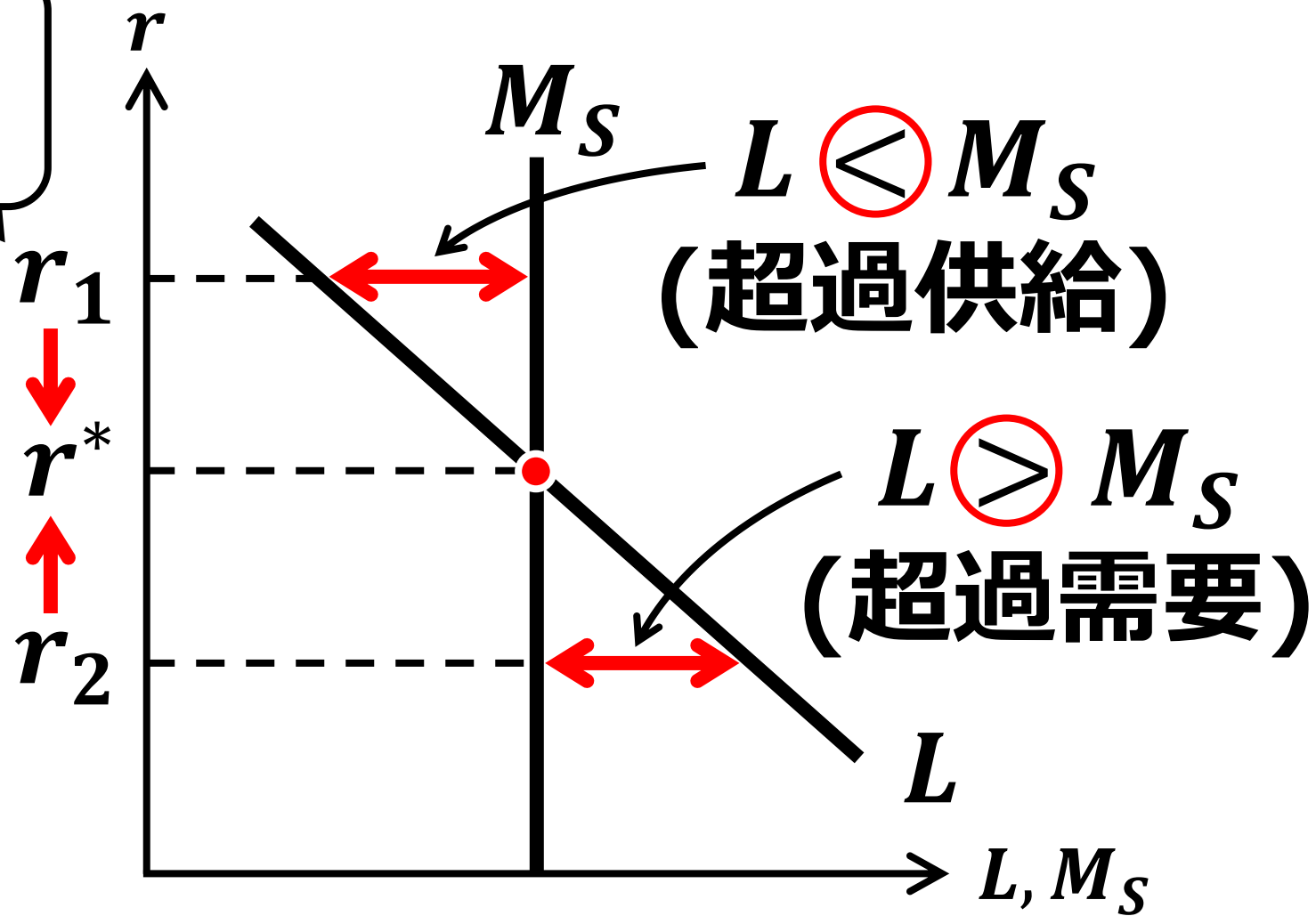
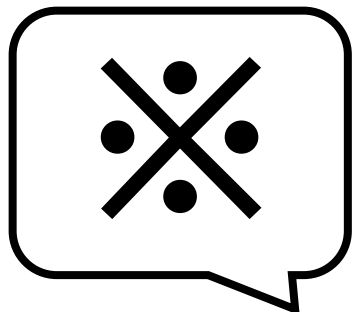
$$\frac{M}{P} = L$$

(もしくは、 $M_S = L$ )



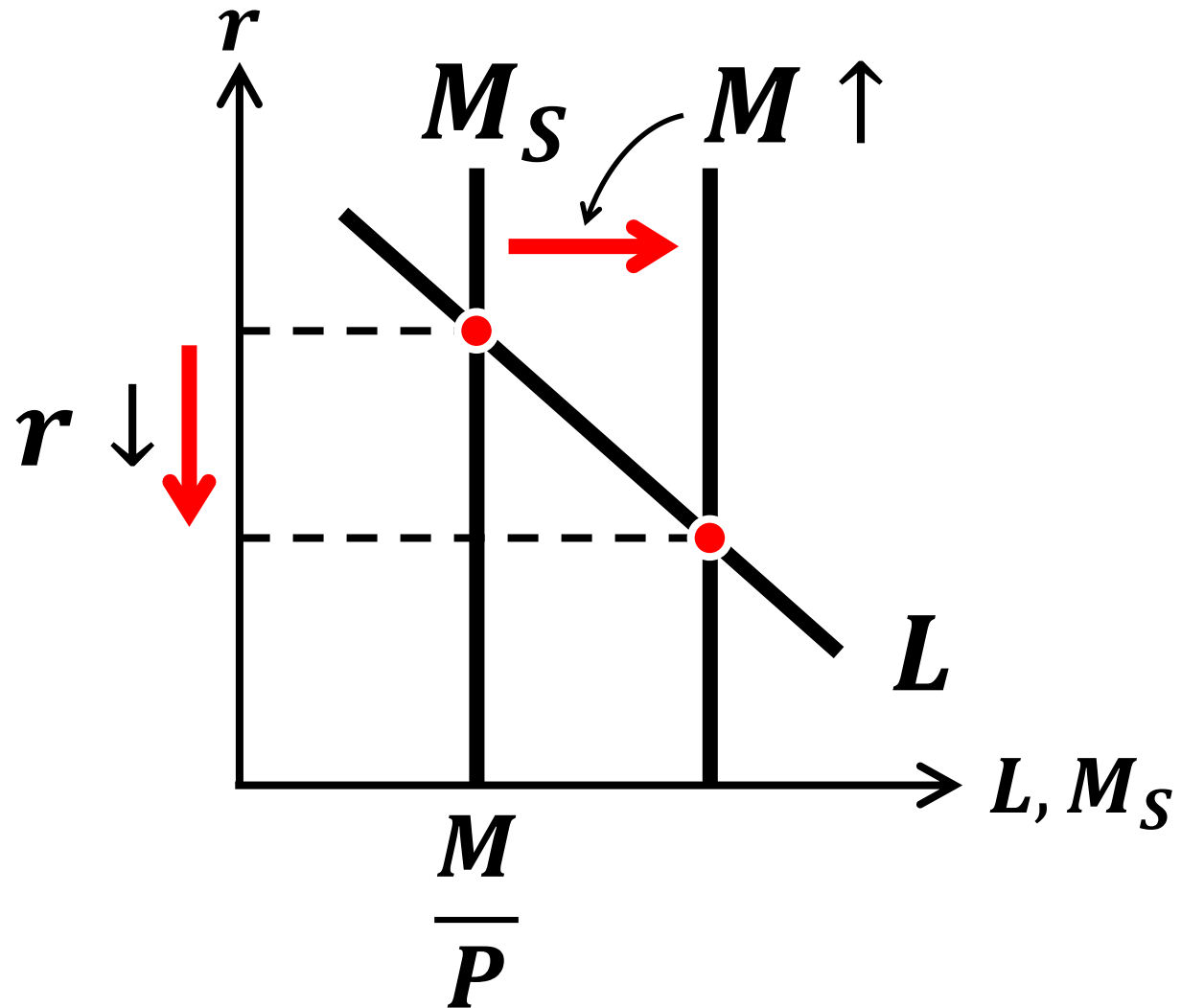
「貨幣市場は均衡するか？」

⇒ 利子率 $r$ による調整で、  
均衡する

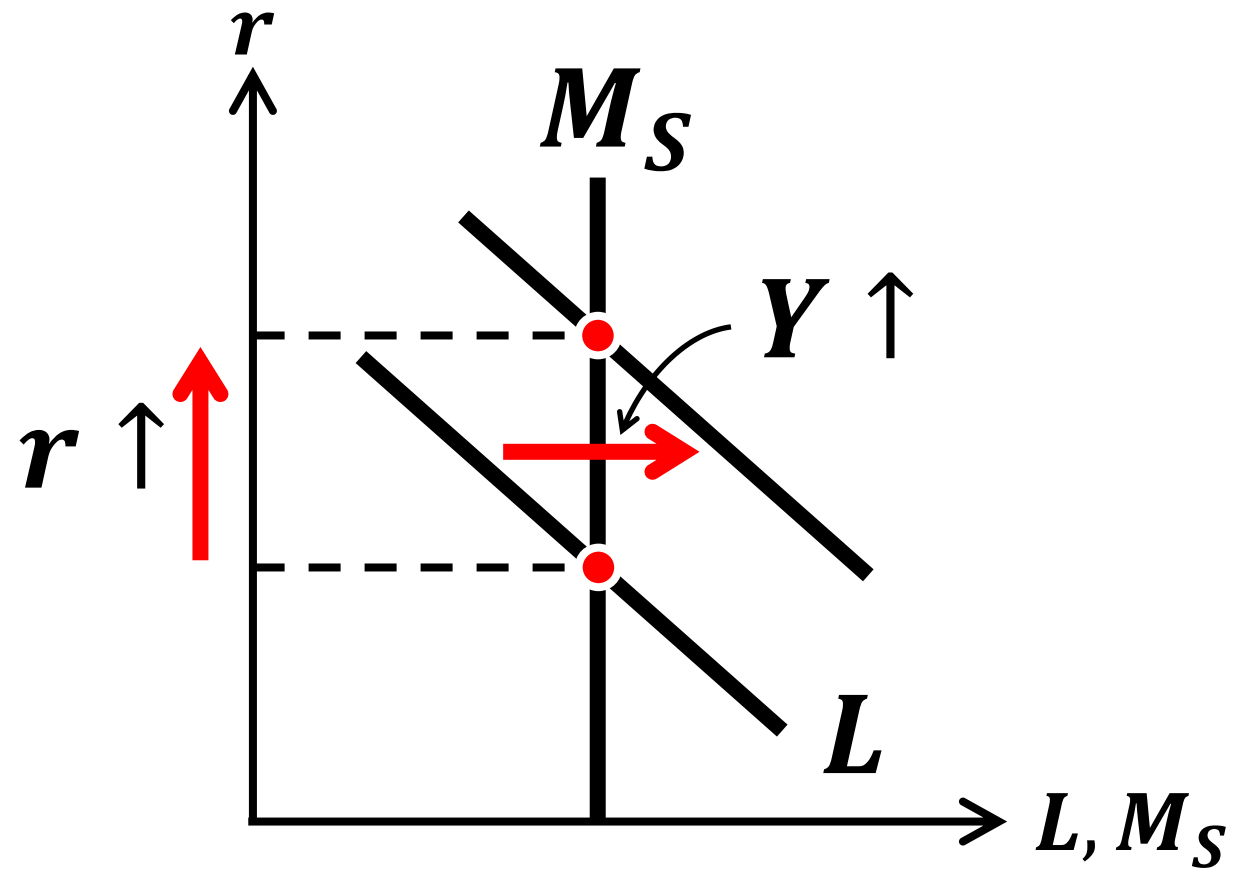


※ 債券の金利 $r$ が高く、  
貨幣の人気がない $L$ ⓪  
→ 政府「 $r$ を下げても  
債券は売れるな」  
→  $r \downarrow \rightarrow r^* \uparrow$

# ① $M \uparrow$ のとき



## ② $Y \uparrow$ のとき



# 例題

$$M_S = \frac{M}{P}$$

$$M = 15, P = 3$$

$$L = -r + Y + 6$$

$$Y = 4$$

のとき、 $r^*$ を求めよ。

# 解答

$$\frac{M}{P} = L \text{ より、}$$

$$\frac{15}{3} = -r + 10$$

$$r^* = \underline{\underline{5}}$$

# 次回(第14講)は…

- ・ マクロ経済学のラスト！
- ・ 今回学んだ貨幣市場から  
LM曲線を求めます
- ・ IS曲線とLM曲線を使って  
IS-LM分析をしていきます！